

～阪神・淡路大震災 20年～

震災の体験・教訓・学びを次世代に伝えるつどい 2015年1月10日

震災の体験・教訓・学びを次世代に伝えるつどい実行委員会主催の【つどい】が1月10日（土）PMに神戸市勤労会館 大ホールで開催。



パネルディスカッションに、堺 汎理事長が パネリストとして参加。

パネルディスカッションのテーマは

「震災20年 KOBE からのメッセージ：ボランティアの果たす役割」

コーディネータ 森田 拓也氏（神戸市いきいき勤労財団 いきいき勤労部長）

パネリスト 大竹 茂氏（岐阜県より、避難所でのボランティアリーダーとして活動）

山川 泰宏氏（神戸・市民交流会 事務局長 1.17の竹燈籠）

堺 汎氏（グループ わ 理事長）

松田 道子氏（神戸YMCA 国際・奉仕センター所長）

「震災のボランティア活動を次世代にどのようにして伝えていくか」について、活発に議論されました。



堺 汎理事長からは、神戸市シルバーカレッジ、その卒業生で構成されている NPO 法人 グループ わの生い立ち、その活動内容など、特に東北支援活動について、第5次東北支援活動の写真をスクリーンに映しながら、説明。特に写真は好評。

フロアでは各団体の活動内容や阪神・淡路大震災の写真がパネル展示されていて、

グループ わ は第5次東北支援活動内容の写真を展示。

（広報・岡本統一）